

日本ライフライン株式会社
2008年3月期中間決算説明会

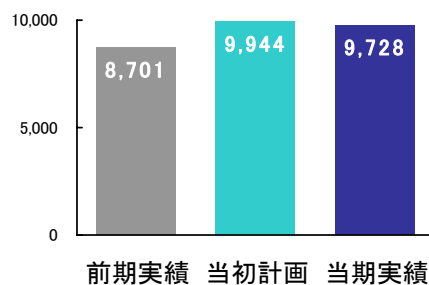
2008年3月期中間決算報告
2008年3月期通期業績予想

常務取締役管理本部長
政 次 浩 二

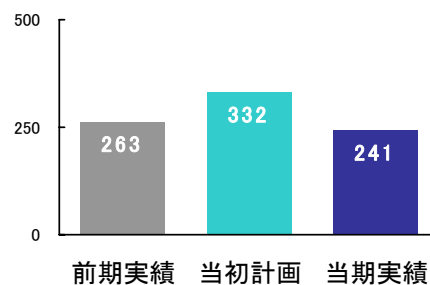
2008年3月中間期業績

(単位;百万円)	2007/3 中間実績	2008/3 中間計画	2008/3中間実績		
			金額	前期比増減率	計画比増減率
売上高	8,701	9,944	9,728	11.8%	△2.2%
営業利益	263	332	241	△8.2%	△27.2%
経常利益	577	552	441	△23.6%	△20.1%
中間純利益	271	248	197	△27.1%	△20.3%

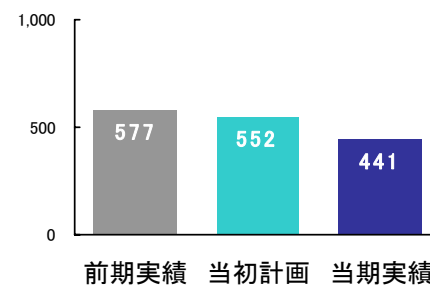
-中間売上高-



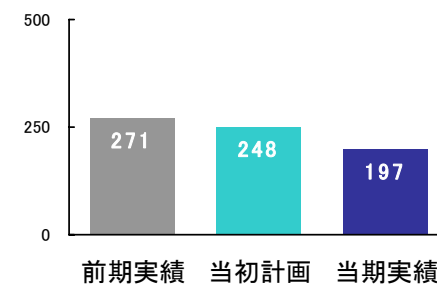
-中間営業利益-



-中間経常利益-



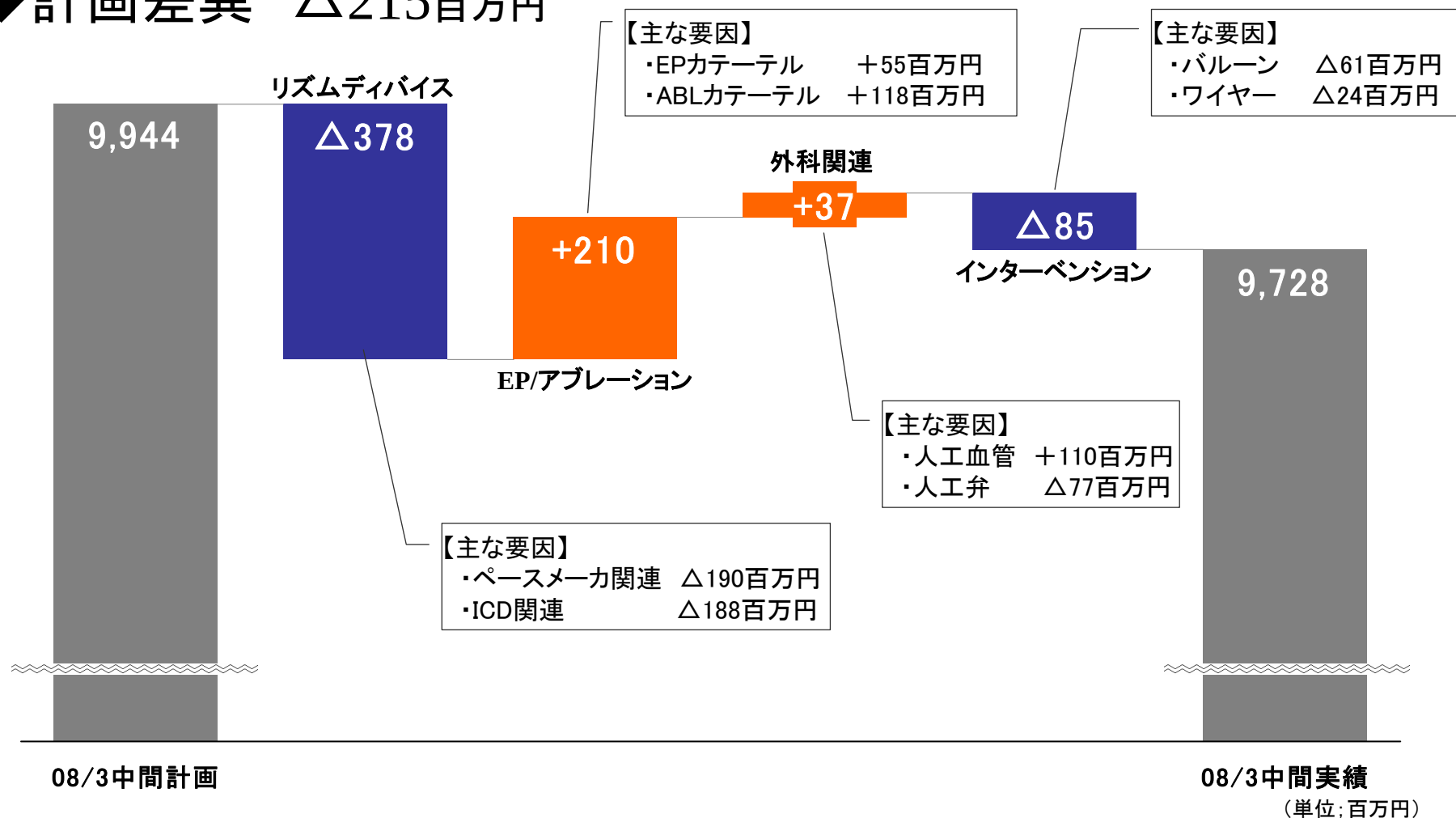
-中間純利益-



(単位:百万円)

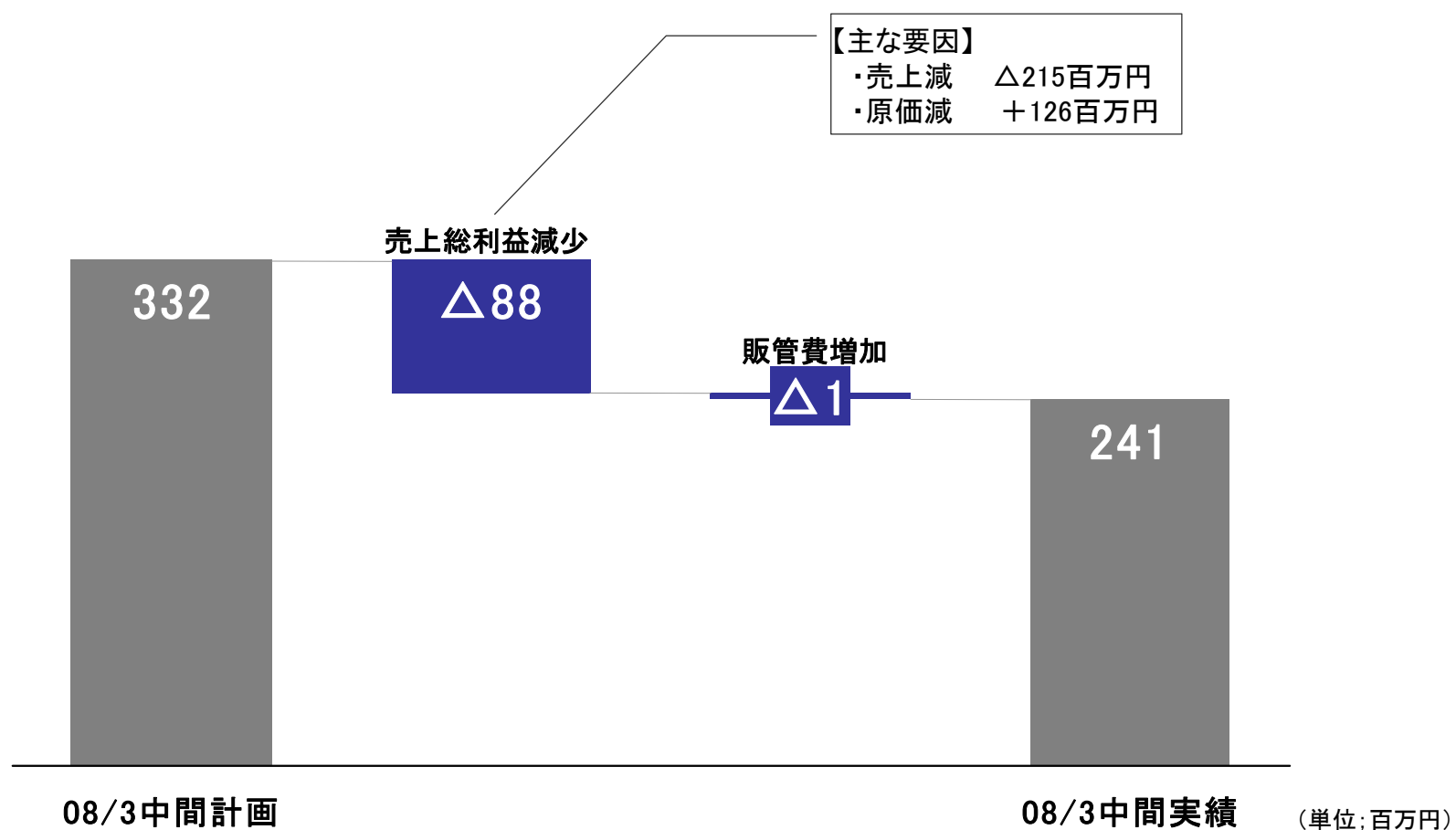
計画差異要因－売上高

◆計画差異 △215百万円

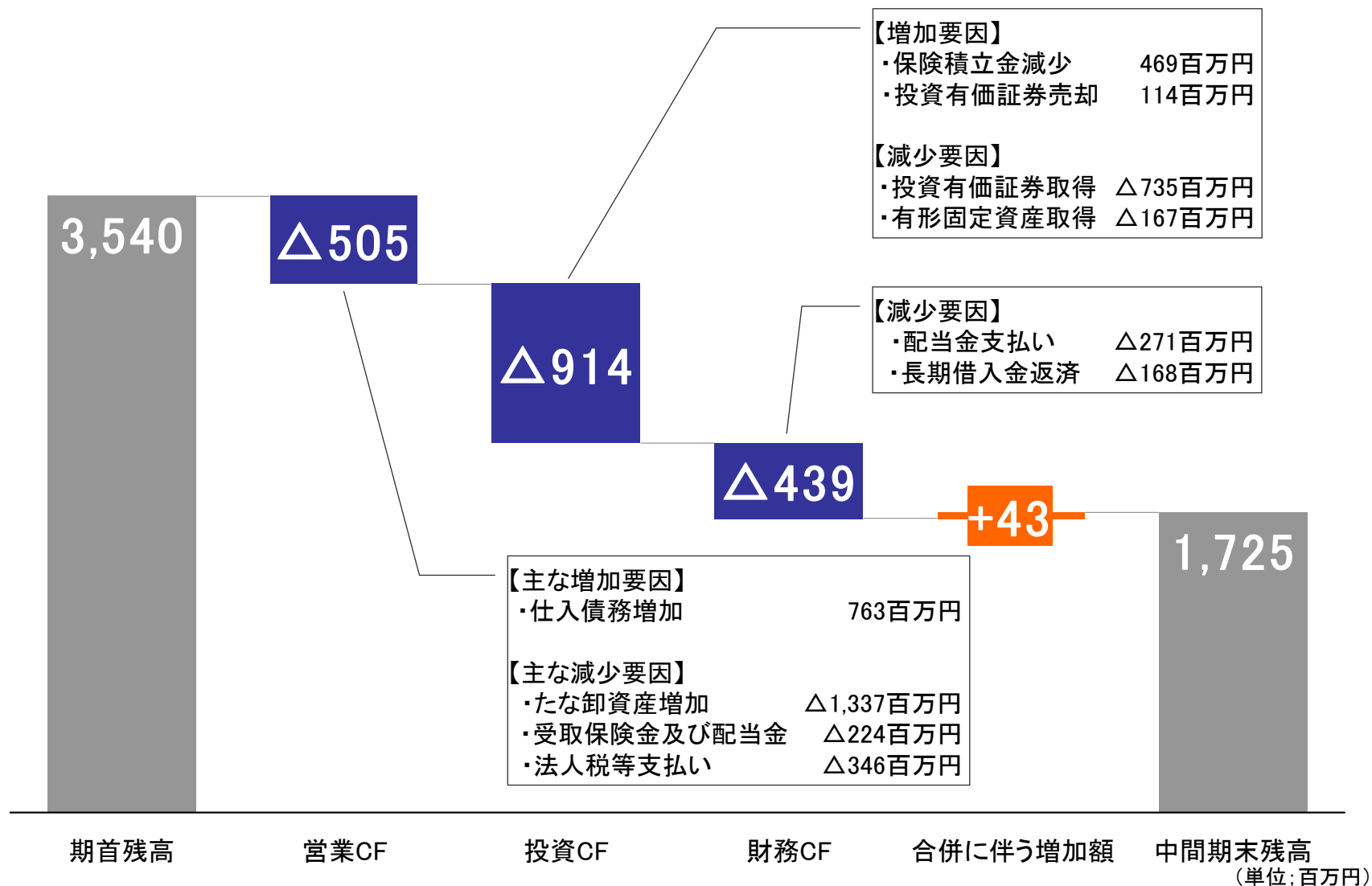


計画差異要因－営業利益

◆計画差異 $\Delta 90$ 百万円



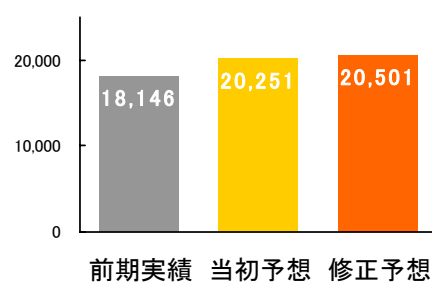
キャッシュ・フローの状況



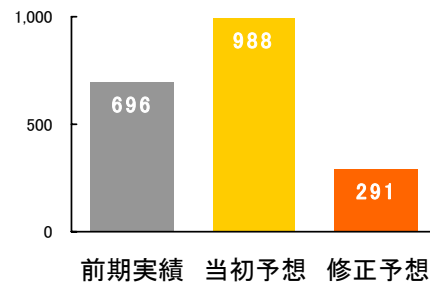
2008年3月期通期業績予想

(単位;百万円)	2007/3 実 績	2008/3 当 初 予 想	2008/3修正予想		
			金 額	前期比増減率	当 初 予 想 比 増 減 率
売 上 高	18,146	20,251	20,501	13.0%	1.2%
営 業 利 益	696	988	291	△58.1%	△70.5%
経 常 利 益	1,142	1,222	487	△57.3%	△60.1%
当 期 純 利 益	508	547	244	△51.8%	△55.3%

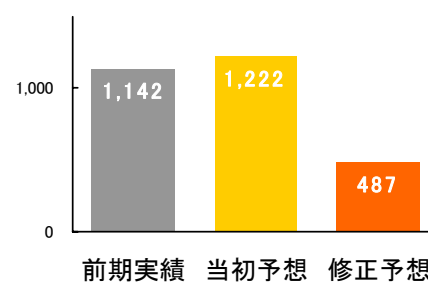
-売上高-



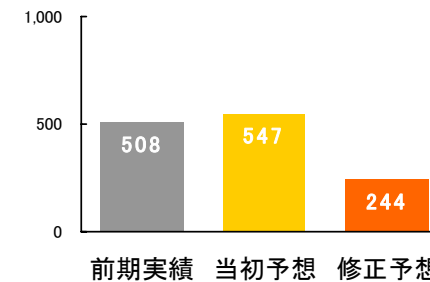
-営業利益-



-経常利益-



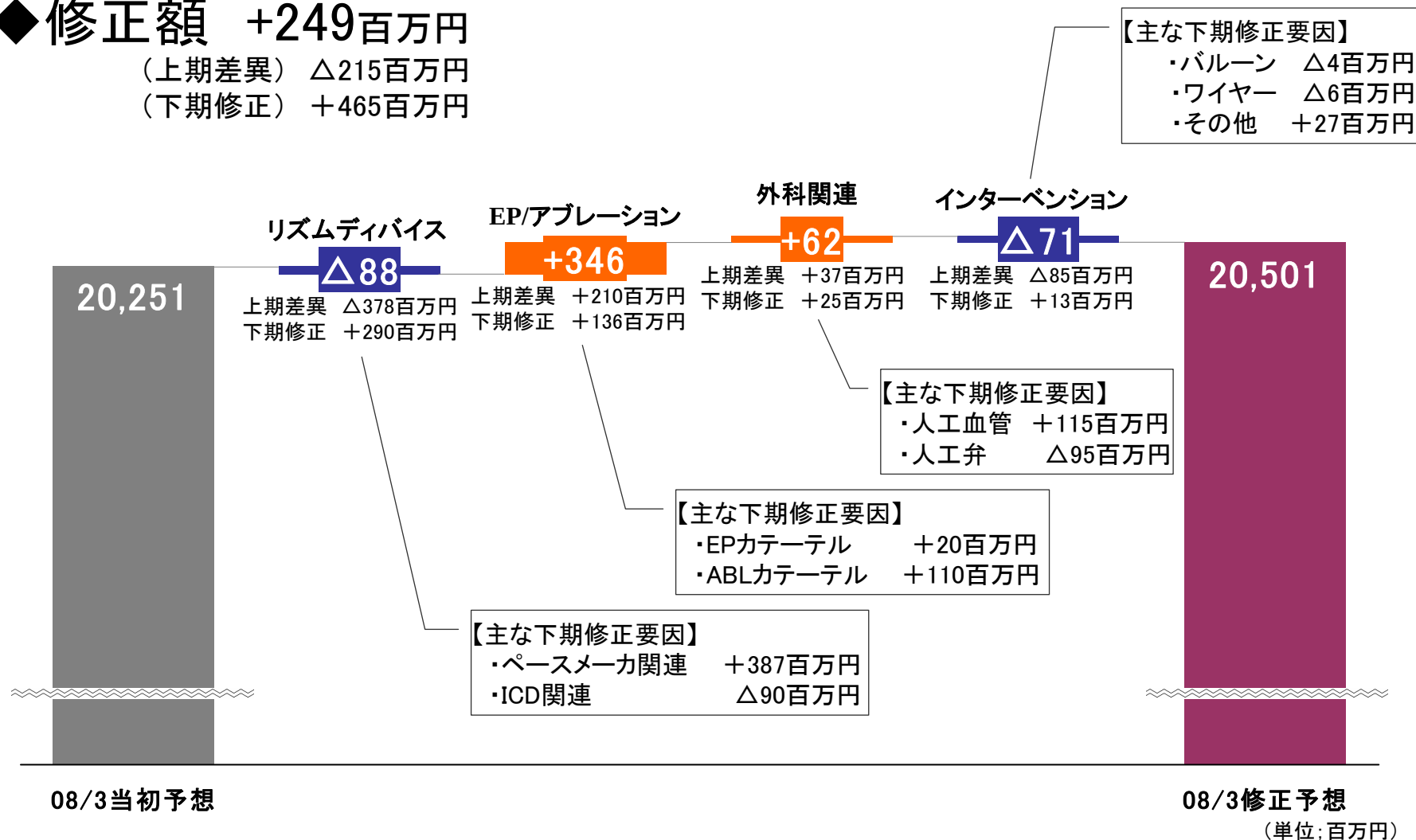
-当期純利益-



(単位:百万円)

業績予想修正要因－売上高

◆修正額 +249百万円
 (上期差異) △215百万円
 (下期修正) +465百万円



業績予想修正要因－営業利益

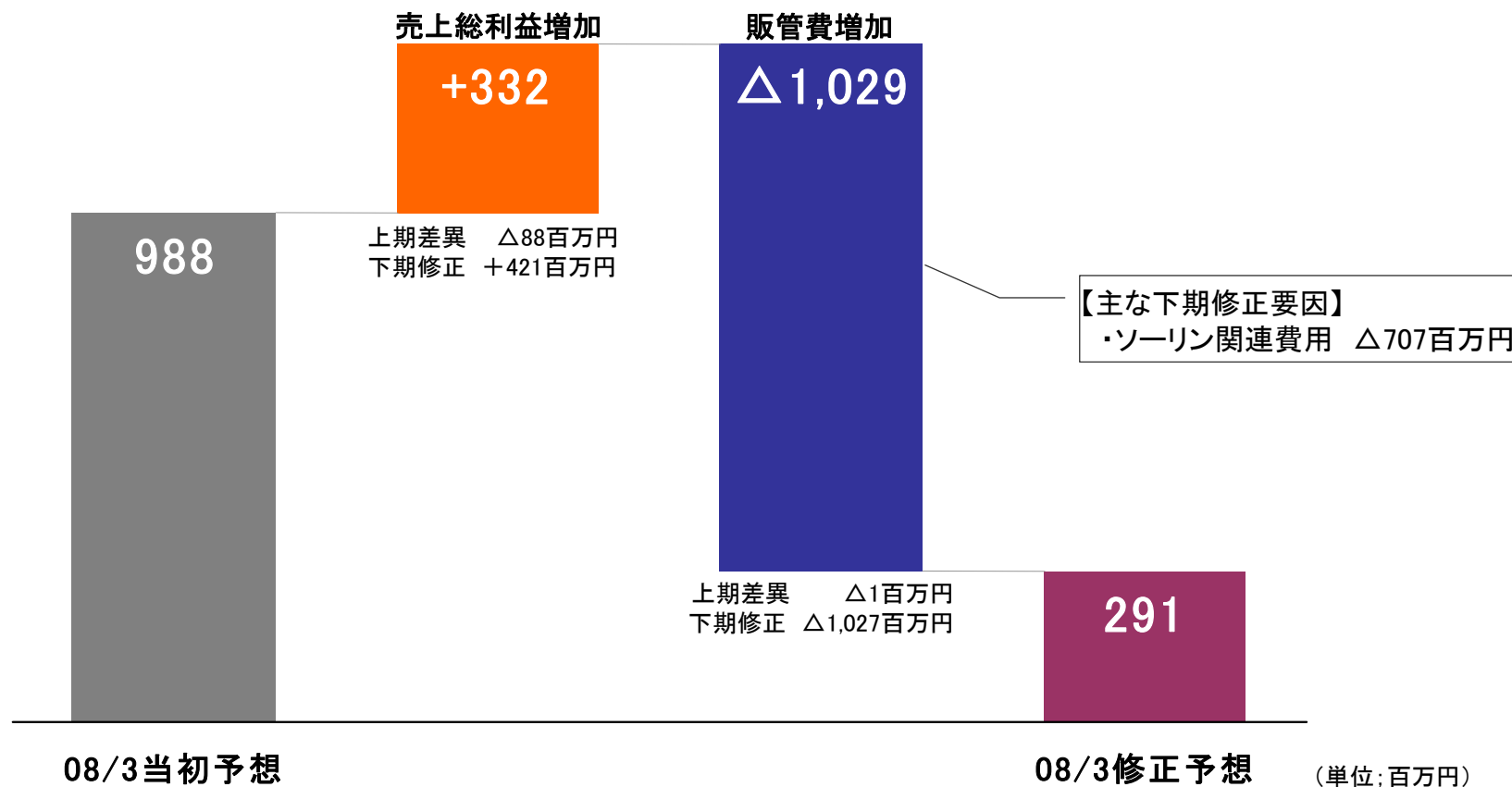
◆修正額 $\Delta 696$ 百万円

(上期差異) $\Delta 90$ 百万円

(下期修正) $\Delta 606$ 百万円

【主な下期修正要因】

- ・売上 $+465$ 百万円
- ・粗利率改善 45.3%→47.2%



補足データ

(単位;百万円)	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3(予)
設備投資額	190	173	271	144	425
減価償却費	278	223	211	150	249
研究開発費	110	151	257	202	227
期末従業員数	328名	346名	364名	370名	435名

(資料)要約損益計算書

(単位:百万円)	2007/3期				2008/3期					
	中間期		通 期		中間期実績			通期予想		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	前期比	金 額	構成比	前期比
売 上 高	8,701	100.0%	18,146	100.0%	9,728	100.0%	11.8%	20,501	100.0%	13.0%
売 上 原 価	4,617	53.1%	9,575	52.8%	5,435	55.9%	17.7%	11,121	54.2%	16.1%
売 上 益	4,083	46.9%	8,570	47.2%	4,292	44.1%	5.1%	9,380	45.8%	9.4%
販 管 費	3,820	43.9%	7,874	43.4%	4,050	41.6%	6.0%	9,089	44.3%	15.4%
営 業 利 益	263	3.0%	696	3.8%	241	2.5%	△8.2%	291	1.4%	△58.1%
営 業 外 益	326	3.8%	467	2.6%	245	2.5%	△24.7%	263	1.3%	△43.6%
営 業 外 用	12	0.1%	21	0.1%	46	0.5%	278.7%	67	0.3%	217.1%
経 常 利 益	577	6.6%	1,142	6.3%	441	4.5%	△23.6%	487	2.4%	△57.3%
特 別 利 益	36	0.4%	111	0.6%	54	0.6%	50.1%	77	0.4%	△30.4%
特 別 損 失	23	0.3%	61	0.3%	49	0.5%	107.8%	50	0.2%	△17.4%
税 前 利 益	590	6.8%	1,192	6.6%	446	4.6%	△24.4%	514	2.5%	△56.8%
法 人 税 等	318	3.7%	684	3.8%	248	2.6%	△22.0%	270	1.3%	△60.5%
純 利 益	271	3.1%	508	2.8%	197	2.0%	△27.1%	244	1.2%	△51.8%

(資料)セグメント別売上高

(単位;百万円)	2007/3期		2008/3期				備考
	中間期	通 期	中間期実績		通期予想		
	金 額	金 額	金 額	前 期 比	金 額	前 期 比	
ペ ー ス メ ー カ 関 連	3,859	7,609	3,927	1.8%	8,435	10.9%	
I C D 関 連	591	1,601	1,106	87.0%	2,391	49.3%	CRT-D含む
そ の 他	24	50	34	40.1%	63	25.7%	
リズムデバイス計	4,475	9,261	5,068	13.3%	10,890	17.6%	
E P カ テ ー テ ル	535	1,099	639	19.5%	1,287	17.1%	自社製造製品
A B L カ テ ー テ ル	703	1,468	852	21.2%	1,700	15.9%	自社製造製品
そ の 他	36	76	64	77.9%	96	26.6%	
E P / A B L 計	1,274	2,644	1,556	22.1%	3,085	16.7%	
人 工 弁	538	1,063	457	△15.1%	928	△12.7%	
人 工 肺 関 連	260	492	235	△9.9%	492	△0.1%	
人 工 血 管	1,245	2,704	1,213	△2.6%	2,532	△6.3%	
そ の 他	0	1	1	522.0%	1	△13.3%	
外 科 関 連 計	2,045	4,261	1,907	△6.8%	3,955	△7.2%	
バ ル ー ン	586	1,183	578	△1.4%	1,242	4.9%	
ガ イ ド ワ イ ヤ ー	216	448	219	1.4%	470	5.0%	自社製造製品
ア ン プ ラ ッ ツ ァ ー	71	197	144	100.5%	305	54.4%	
そ の 他	30	149	254	726.8%	552	270.8%	フィルトラップ含む
インターベンション計	905	1,978	1,196	32.1%	2,570	29.9%	
合 計	8,701	18,146	9,728	11.8%	20,501	13.0%	

今後の課題と展望

代表取締役社長
鈴木 啓 介

ソーリン・グループとの契約締結について

(1) エラ・メディカル社製CRM製品の独占販売契約

― 品 目 : エラ・メディカル社製のCRM製品

ペースメーカー、ICD、CRT-D、ホルター心電計等

― 期 間 : 2007年9月1日から10年間(以後2年毎の自動更新)

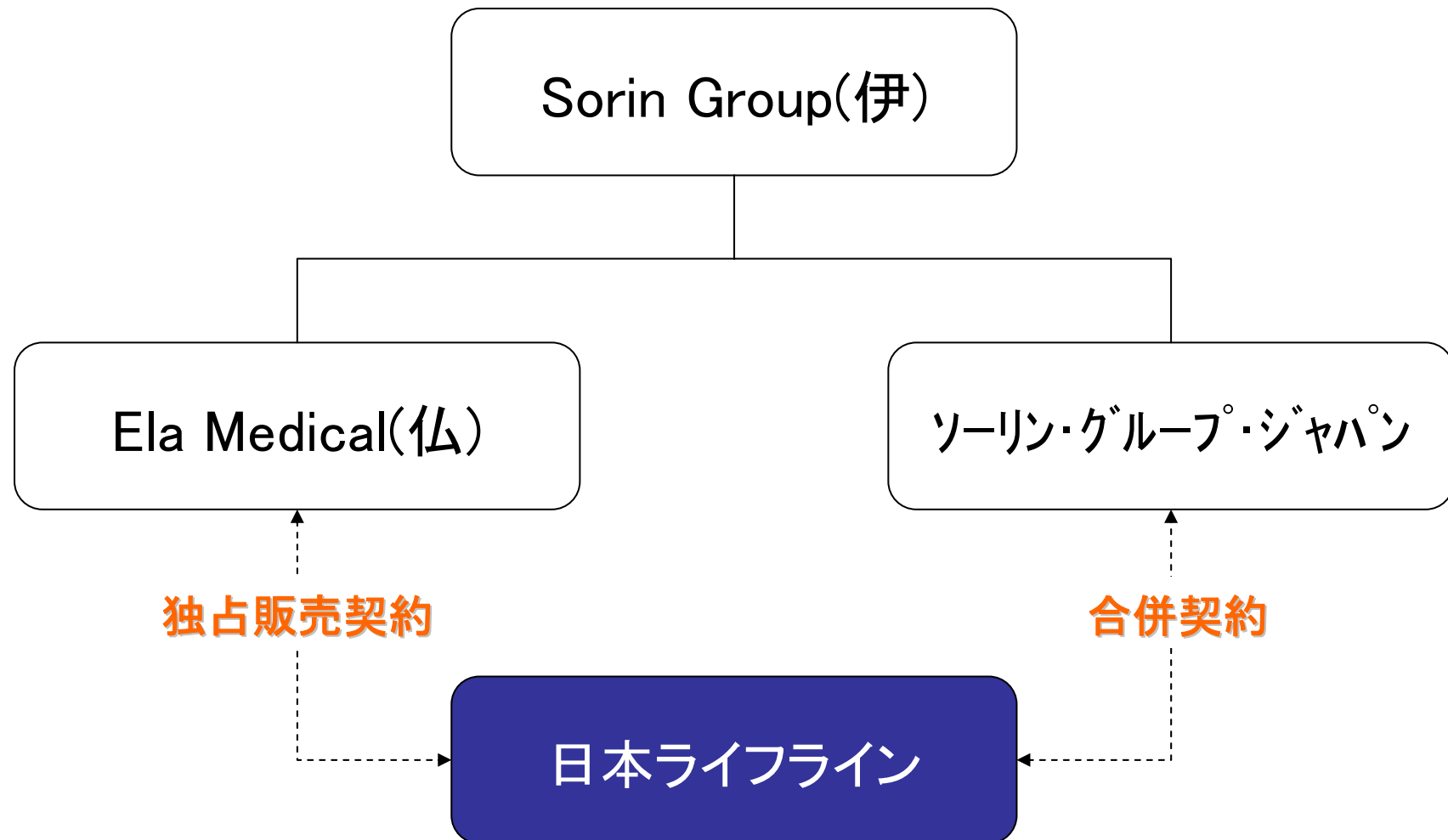
(2) ソーリン・グループ・ジャパン(SGJ社)の買収・合併

― ソーリン・グループ傘下 エラ社製品の日本販売子会社

― 2007年8月31日 完全子会社化

9月 1日 吸収合併

契約関係概略図



ソーリン・グループ概要①

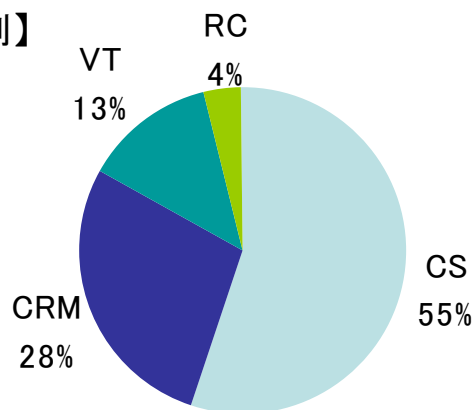
- ◆社 名 : Sorin S.p.A (グループ本社)
- ◆本 社 : イタリア ミラノ
- ◆上 場 : ミラノ証券取引所
- ◆従業員数 : 約4,500名 (2006/12末)
- ◆売 上 : 791百万ユーロ (2006/12期)
- ◆事業内容 : 心臓血管および腎臓疾患を治療する医療機器を製造販売。
グループ傘下に8つの主要ブランドを持ち、約80カ国で事業を展開。

ソーリン・グループ概要②

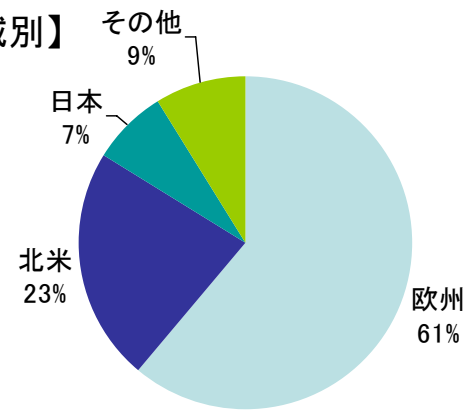
◆事業領域と売上構成

事業領域	取扱商品	主要ブランド
Cardiac Surgery	人工肺 人工弁	CARBOMEDICS、COBE MITROFLOW、STOCKERT
Cardiac Rhythm Management	PM、ICD CRT-D	ELA MEDICAL
Vascular Therapy	ステント	SORIN BIOMEDICA、 DIDECO
Renal Care	人工透析器	BELLCO

【製品別】



【地域別】



エラ・メディカル概要

- ◆社 名 : Ela Medical S.A.S
 - ◆本 社 : フランス
 - ◆従業員数 : 約1,000名
 - ◆売 上 : 217百万ユーロ(06/12期 Sorin CRM部門)
 - ◆事業内容 : CRM製品の製造・販売
 - ◆特 色 : R&Dに注力
 - ー売上高の約10%超をR&Dに投資
 - ー従業員の約25%はR&D部門
- ➡ 高品質・高付加価値製品を製造

エラ・メディカル社との契約締結の狙い

日本ライフライン

- ・CRM関連商品で全社売上の約5割
 - ・全国規模の営業力
- (課題) 高品質・高付加価値製品の確保

Sorin Group/Ela Medical

- ・CRM事業に注力(特に日本と米国)
 - ・優れた製品開発力
- (課題) 日本における販売網の拡充

CRMマーケット
今後も成長見込み

パートナーシップ締結により
日本市場での売上拡大へ

エラ・メディカル社商品

◆心臓ペースメーカー①

ー商品名 「リプライ」

ー特 長 世界最小クラス 8cc、長寿命 9年

SafeR搭載

(不必要な心室ペーシングを最少化)

ー発売開始 2008年8月予定

現行商品:「シンフォニー」



10.5cc/24g



新商品:「リプライ」



8cc/20g

エラ・メディカル社商品

◆心臓ペースメーカー②

ー保険償還価格

「リプライ」にはデュアルチャンバ(V)が適用見込み

【ペースメーカー保険償還価格】

(千円)

分類	2007/4	2007/10	2008/4
デュアルチャンバ(V)	—	1,330	1,330(予想)
デュアルチャンバ(IV)	1,270	1,270	改定により 引き下 げみ
デュアルチャンバ(Ⅲ)	1,260	1,260	
デュアルチャンバ(Ⅱ)	1,222	1,222	
デュアルチャンバ(Ⅰ)	1,110	1,110	

※デュアルチャンバ(V)ー新機能を持ったペースメーカーに対する新たな分類として2007/10より設定

エラ・メディカル社商品

◆心臓ペースメーカー③

「リプライ」発売により

－患者・医療機関・当社の3者にメリット

－他メーカー1社（2007/7発売）のみが同一分類適用

→来期は当社と2社による独占市場

－流通価格見直しの機会

エラ・メディカル社商品

◆ICD（植込み型除細動器）

ー商品名 「オベিশオ」

ー特 長

- ・世界最小クラス 30.8cc
- ・PARAD⁺（不適切な除細動のショックを最小限に抑制）
- ・SafeR（不必要な心室ペーシングを最少化）
→同機能を搭載した世界初のICD

ー発売開始 2007年9月1日より当社発売開始



エラ・メディカル社商品

◆CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）

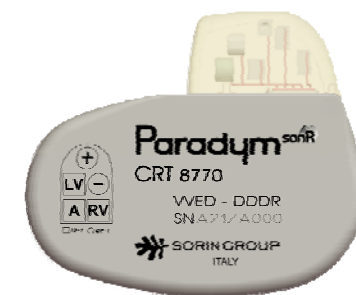
ー商品名 「パラダイム」

ー特 長

- ・小型 34cc
- ・高出力
- ・SonR

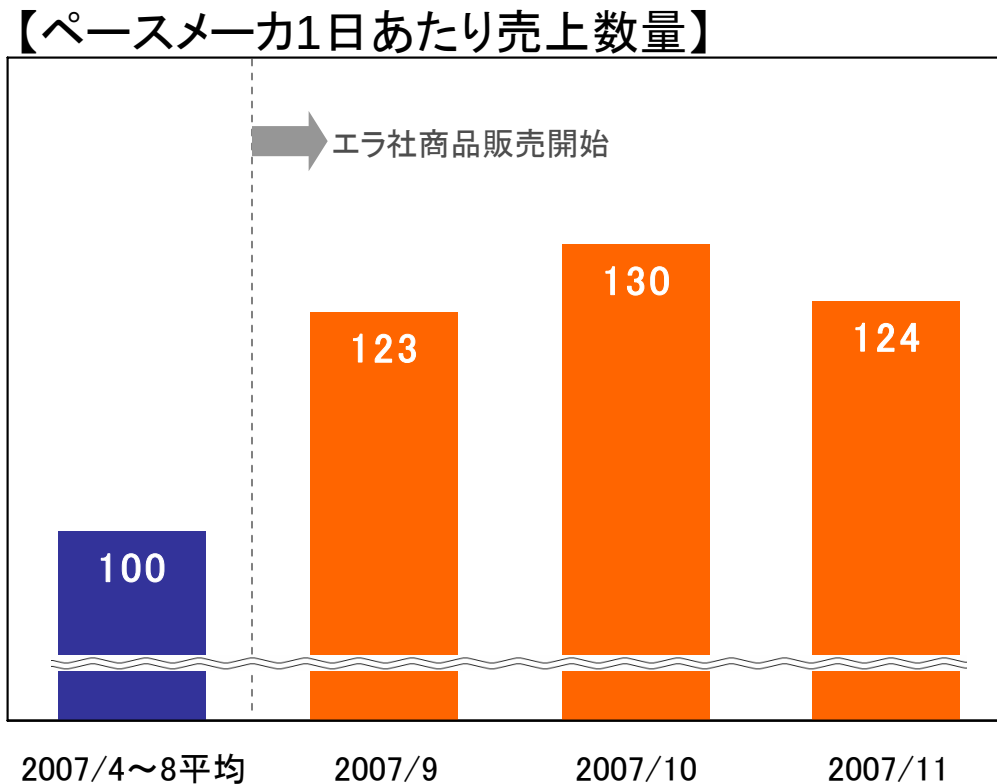
→血行動態をセンサーで捉え自動的に設定を最適化

ー発売開始 2010年3月期（予定）



ペースメーカー売上動向①

- ◆エラ社商品販売後1日あたり売上数量が2～3割増
- ◆SGJ社合併の効果

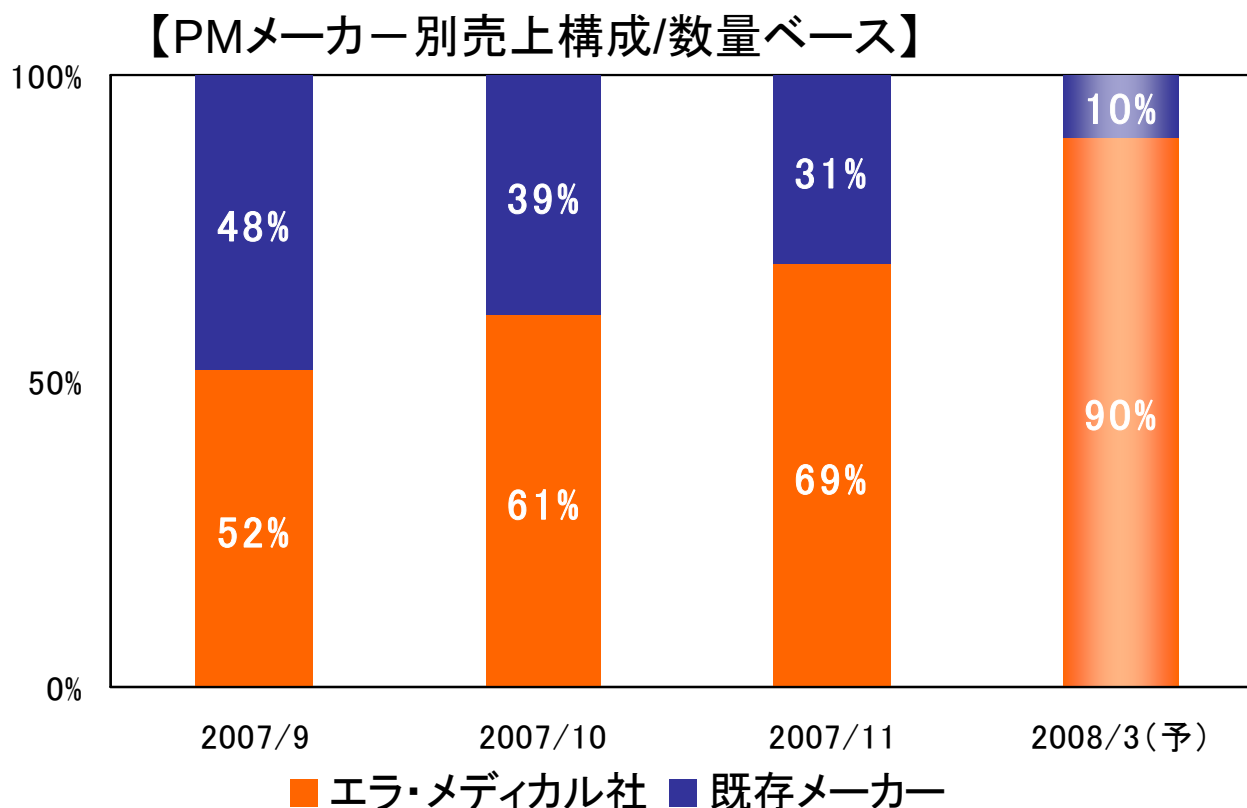


※2007年4～8月の平均値を100として表示

ペースメーカー売上動向②

◆当社顧客のエラ社商品への移行は順調

◆2008/3月末には売上数量の9割はエラ社商品に



ペースメーカー来期見込み

◆エラ社商品にほぼ切り替え完了見込み

→SGJ顧客＋当社顧客

→仕入条件改善効果がフルに寄与

◆新商品「リプライ」(2008/8発売予定)

→新規顧客獲得

→保険償還改定の影響回避



・市場シェア拡大(シェア2位へ)

・粗利益率改善

【ペースメーカー市場シェア/数量】

会社名	シェア
日本メトロニック	34.1%
日本ライフライン	18.7%
ゲッツブラザーズ	14.8%
日本ライフライン	9.8%
フクダ電子	6.8%
ソーリン・グループ・ジャパン	6.2%
日本光電	5.6%
日本ガイダント	2.8%
日本ビタロン	1.2%
その他	

※アールアンドディ「医療機器・用品年鑑2007」を基に作成

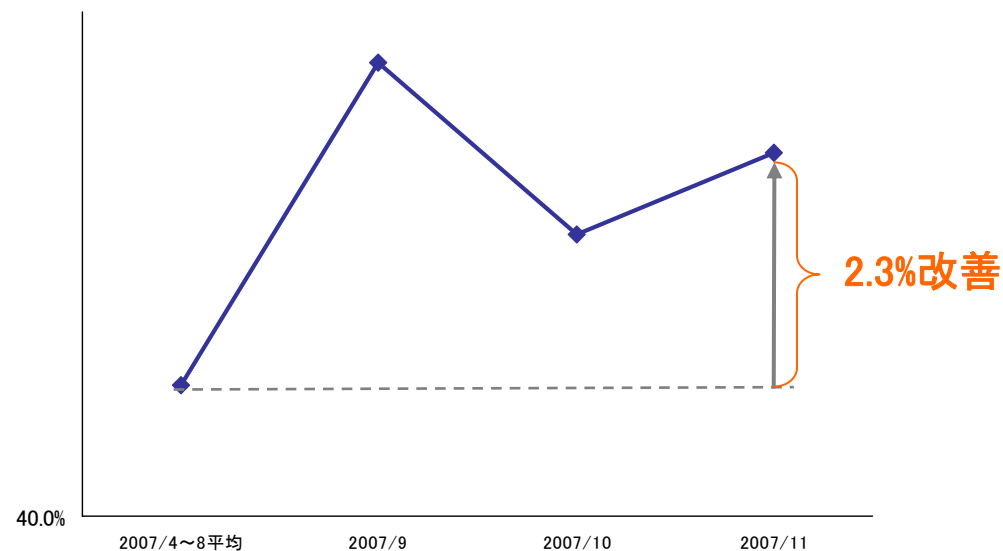
※集計期間は2006/1～2006/12

リズムデバイス動向

◆徐々に粗利益率改善の効果

◆CRT-D、リードは引き続き既存メーカ商品を販売

【リズムデバイス粗利益率/月】



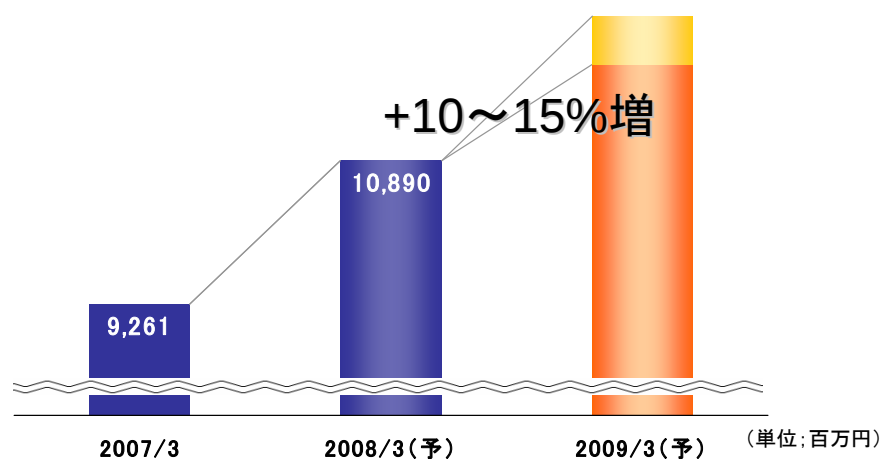
リズムデバイス来期見込み

◆ペースメーカー,ICDが通期で寄与

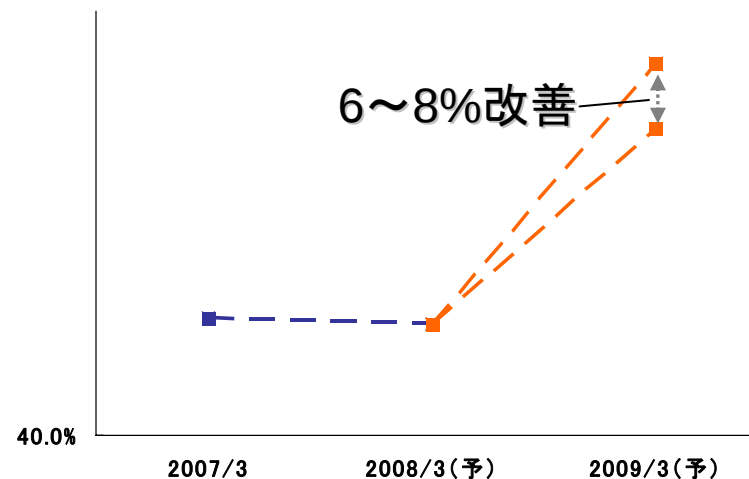
◆エラ社製ICDリード発売予定(08/3期 4Q)

➡売上高増に加え粗利益率改善

【リズムデバイス売上高見込み】



【リズムデバイス粗利益率見込み】



※2008年4月に実施予定の保険償還価格改定の影響は織り込んでおりません。

自社製造製品の動向

08/3期中間売上高 1,744百万円(売上比率 17.9%)

◆EP(電気生理用)カテーテル(前期比19.5%増)

ー「EPスター」シリーズ新製品の投入

ー韓国への輸出(08/3期 4Q予定)

→アジア市場を見据えた展開

◆アブレーションカテーテル(前期比21.2%増)

ー引き続きトップシェアを維持

◆ガイドワイヤー(前期比1.4%増)

ー「アスリート・イール」のラインナップ充実へ



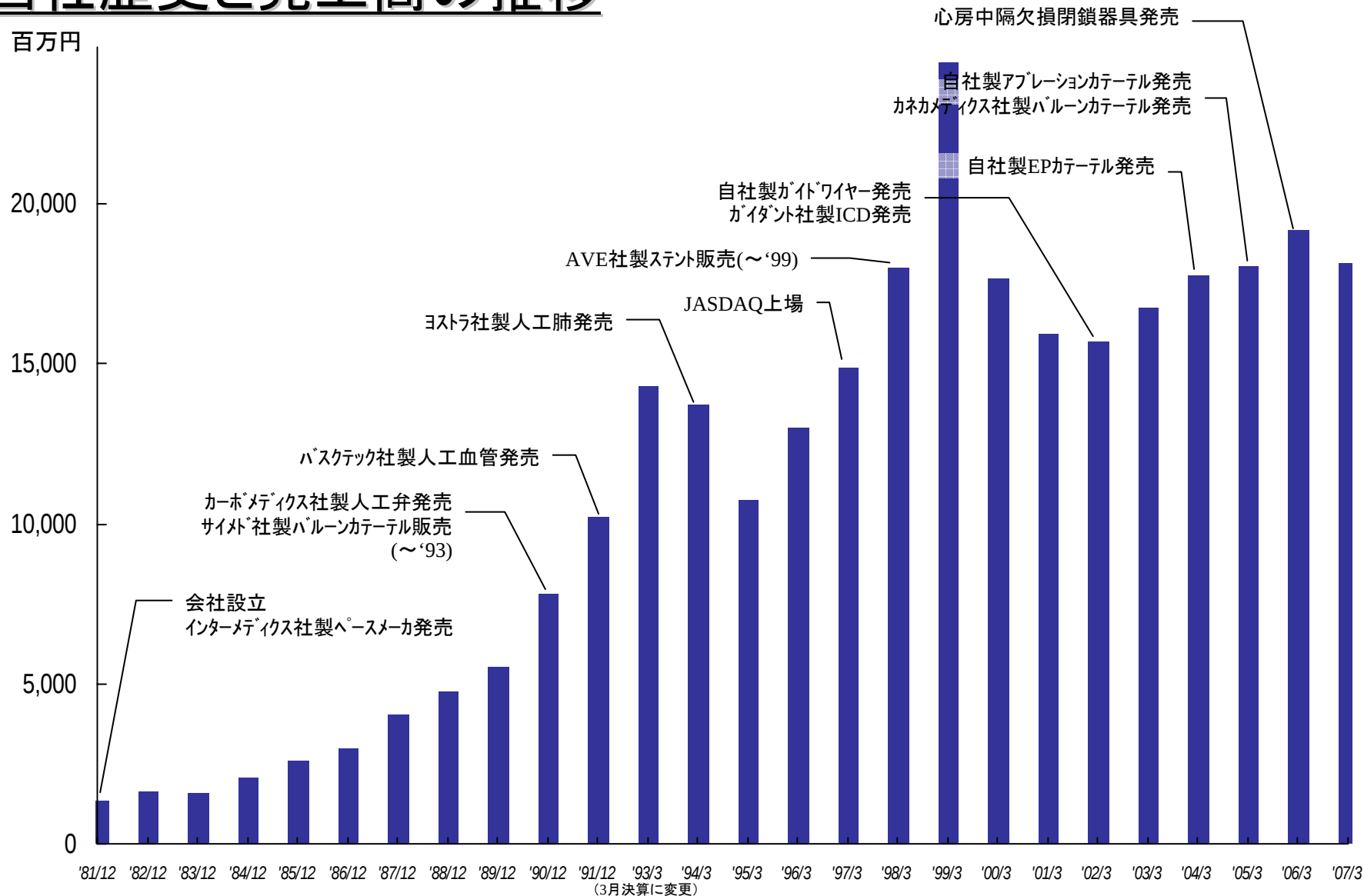
新製品「EPスター・リベロ」

ABLカテーテルとのシナジー効果が期待される肺静脈マッピング用カテーテル

会社概要

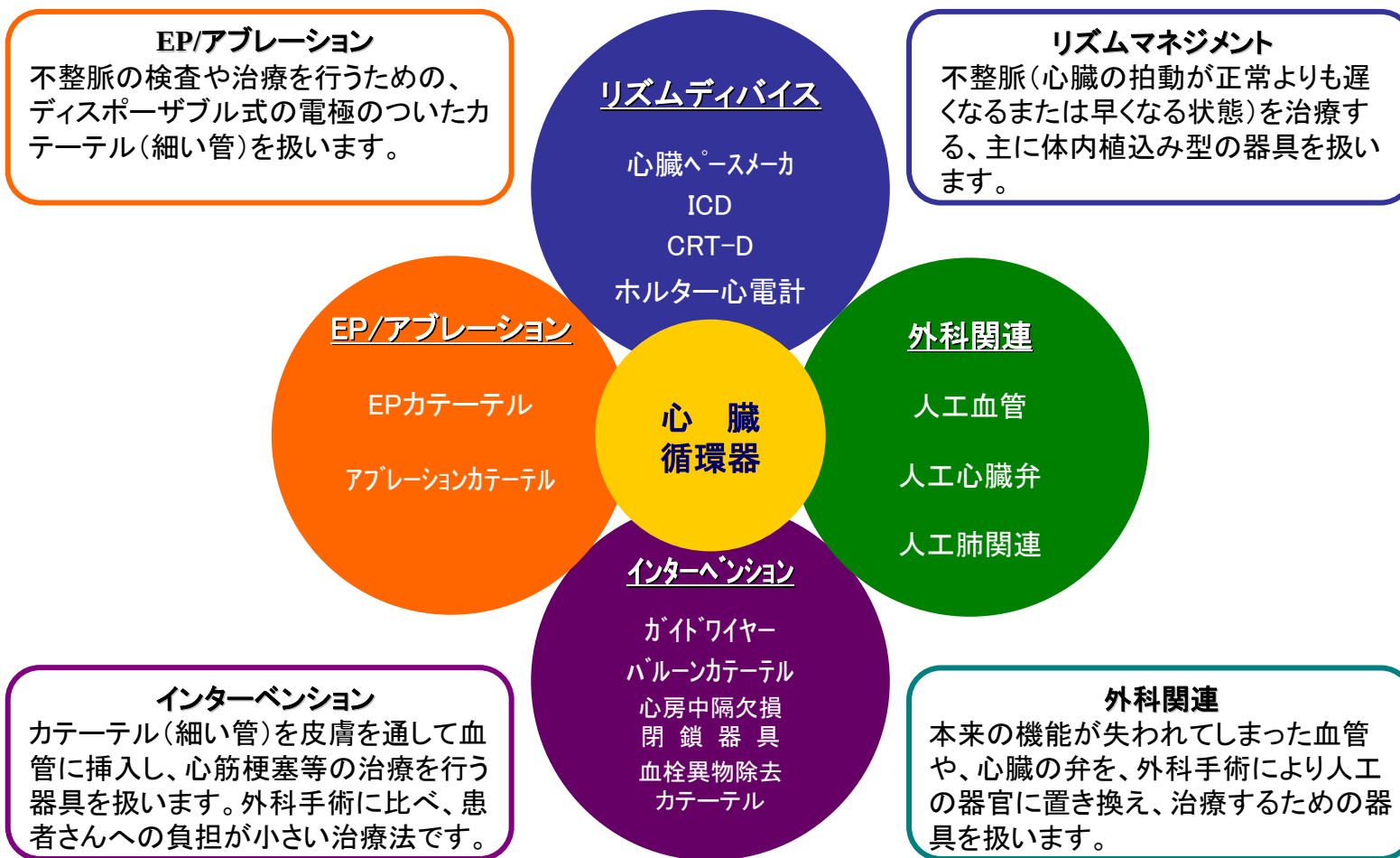
- 【商 号】日本ライフライン株式会社
- 【代 表 者】代表取締役社長 鈴木 啓介
- 【本 社】東京都豊島区池袋2-38-1
- 【設 立】1981年2月6日
- 【上 場】1997年12月8日(JASDAQ)
- 【証券コード】7575
- 【事業内容】医療機器の輸入、製造および販売
- 【資 本 金】2,115百万円
- 【従業員数】429名(2007年9月30日現在)
- 【事 業 所】営業所(25)、出張所(3)、商品センター
リサーチセンター、浮間ファクトリー
天王洲ACCADEMIA(研修センター)

当社歴史と売上高の推移

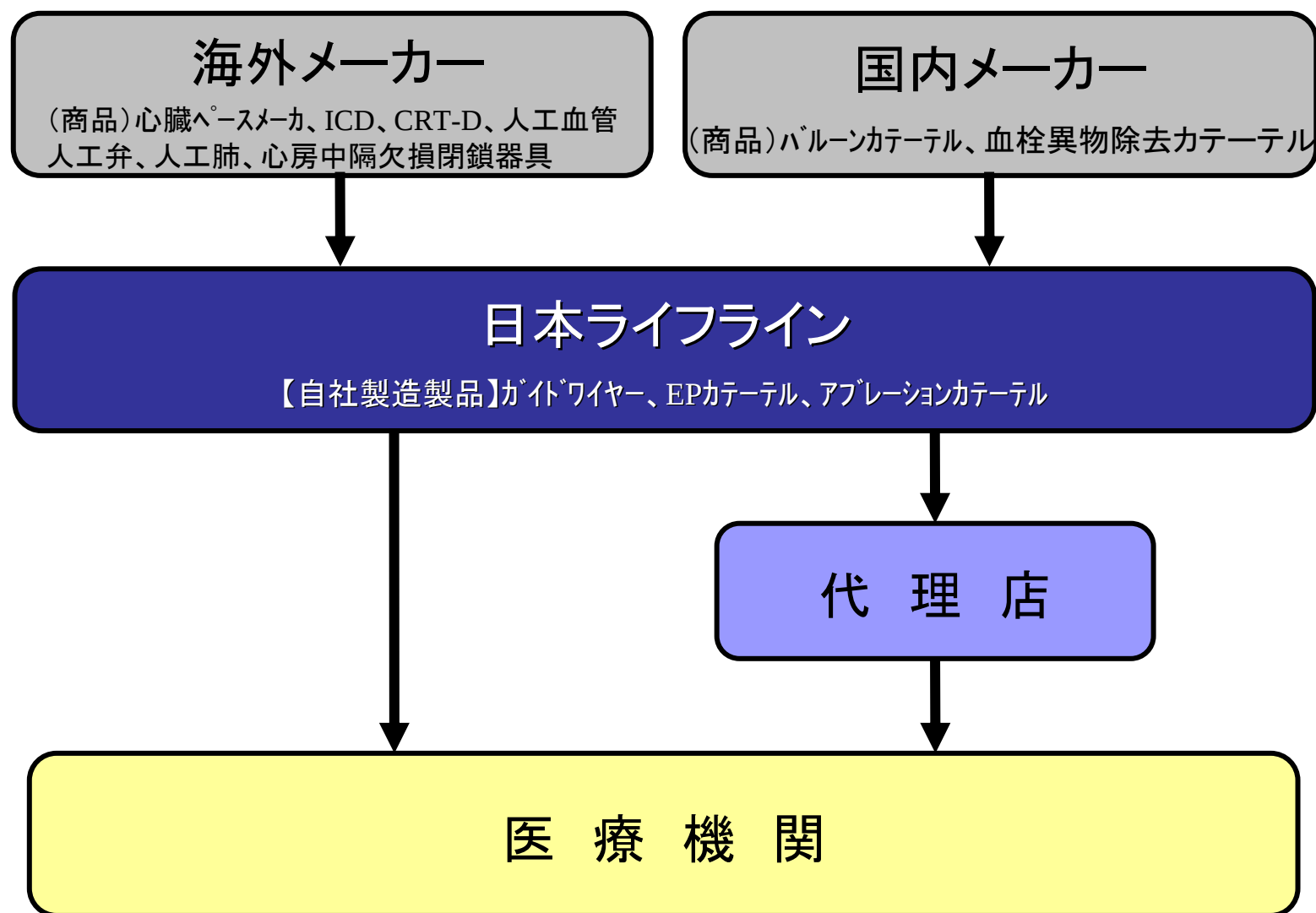


事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、の4つに大別されます。



商品の流通経路



商品紹介:リズムデバイス



心臓ペースメーカー
(Ela Medical社製)

心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。



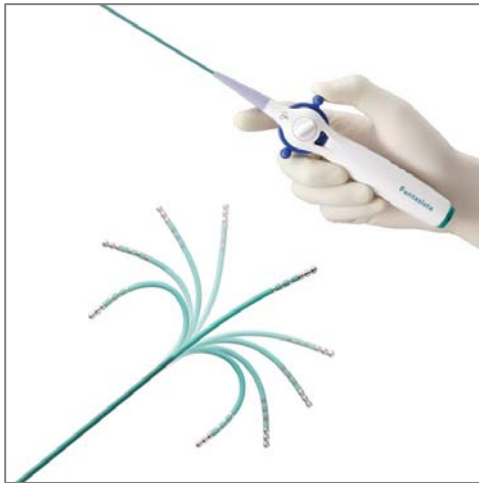
ICD(植込み型除細動器)
(Ela Medical社製)



ホルター心電計
(Ela Medical社製)

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

商品紹介:EP/アブレーション



アブレーションカテーテル

(自社製造製品)

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP(電気生理用)カテーテル

(自社製造製品)

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。



商品紹介：外科関連



人工心臓弁
(Carbomedics社製)

心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

動脈瘤（動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する）などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。



人工血管
(Vascutek社製)

人工弁付血管
(Carbomedics社製)



人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

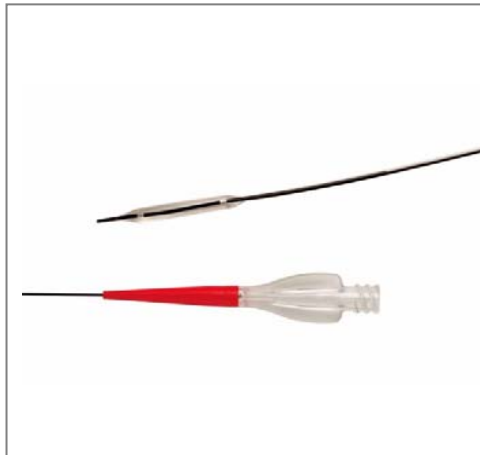
心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

人工肺

(Maquet Cardiopulmonary社製)



商品紹介：インターベンション



バルーンカテーテル
(カネカメディックス社製)

心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船(バルーン)を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。



先端イメージ図
ガイドワイヤー
(自社製造製品)

心房中隔欠損閉鎖器具
(AGA Medical社製)



商品名:「アンプラッツァー」

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患(心房中隔欠損症)を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

血栓異物除去用カテーテル
(ニプロ社製)



商品名:「フィルトラップ」

■ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社

経営企画室 山田

電話 03-3590-1618

Mail ir@japanlifeline.com

URL <http://www.jll.co.jp>



... for patient comfort.